

風化した奇岩がそそり立つ
ミステリアスな小島—



うね神と牛(南風原牧場)

隆起サンゴでできたこの島では、あちこちで奇岩を見かけます。その中でも、小宝島のシンボルでもあるうね神と言われる岩山は、まるでこの島を見守る神のような存在感です。



外ばんや・ばんや

城之前漁港近くにあるこの奇岩は、海からの風などによって、海岸側の山肌はくし状に風化しています。普段は、温かく穏やかな気候の島でも、一転すればこのような奇岩を作り出す、という自然の驚異です。



小宝神社



島のあちこちで蝶々が飛び交います



小宝島全景

まるで妊婦さんが横たわっているようなこの島は、名前の通り“子宝に恵まれる”という伝説があります。右の小さな岩山はうね神、左の大きな山は竹の山です。



小島

小宝島の東海上に浮かぶサンゴが隆起してできた無人島です。この付近は絶好の釣りポイントになっています。



小宝島港そばから見る夕日

小宝島港右手の堤防近くにあるサンゴ岩に降りると、西海岸に沈む夕日を目の前で見ることができます。海を照らす夕日のオレンジ色と、そこを時々通る漁船のシルエットが、とても情緒的で美しいです。また、遠くの方には宝島も見ることができます。



解(はしけ)

昭和 8 年、鹿児島本土と十島村の各島を結ぶ初めての定期船「十島丸」が就航しました。当時は、どの島にも定期船が接岸できる港はなく、船を沖合に停泊させ、解(はしけ)を利用して人の乗降や荷物の積み下ろしを行っていました。七島灘の荒波の中での乗降は、本船から解まで飛び移らなければならず大きな危険を伴うものでした。それから 50 数年の間に、各島に定期船が接岸できる港が整備されていきました。そして平成 2 年 4 月 10 日、小宝島港にも村営定期船「しま」が接岸し、島の住民は国内の定期航路では最後まで続けられていた解作業から解放されました。ここに展示している 2 隻の通船はその当時まで使用されていた日本で最後の解である小宝丸(じょうほうまる)です。

湯泊温泉(露天風呂)

潮騒を聞きながら楽しめる海辺の開放的な混浴露天風呂です。コンクリートで固められた 3 つの湯溜めは、それぞれの温度が違います。手前が高温で 2 番目は適温、奥がぬめる温度です。お好みの湯船で。

【泉質】硫黄・塩化物泉
【効能】神經痛、筋肉痛、冷え症、慢性皮膚病、やけどなど
【入浴料】無料



赤立神海水浴場

小宝島港を上って、右へ 50m 程行った所の「海水浴場」標識に従って行くとたどり着けます。サンゴ岩でできた海水浴場には、砂浜はありませんが、透明度が高いので、シュノーケリングなどが楽しめます。また浅い所では、魚や貝などを観察できます。奥には奇岩の赤立神もあり、子供も大人も楽しめる海水浴場です。

シャワートイレ施設も新たに整備し、利用しやすくなりました。

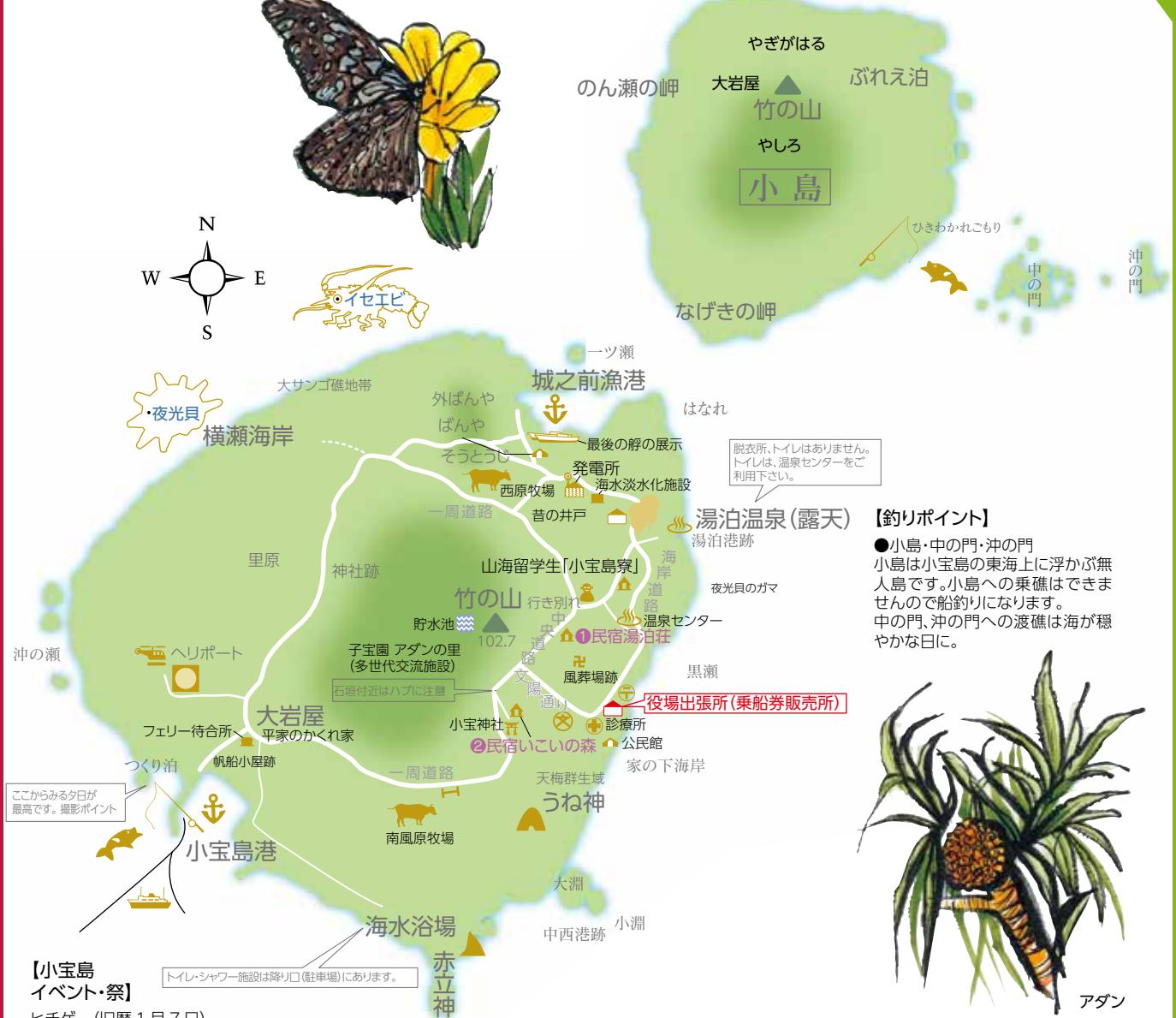
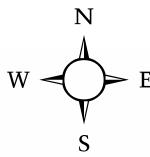


“小宝島”ってどんな島?

宝島の北東約 16km にある隆起サンゴ礁でできた周囲約 4km の小さな島。アダンやソテツが生い茂り、道わきにはハイビスカスが咲き乱れる亜熱帯情緒あふれる島です。一番高い「竹の山」の標高は 103m で、島の中央にそびえています。その麓を一周する道路は約 2km で、30 分も歩けば島を一周できます。また海上から見ると妊婦さんのように見えます。立神と呼ばれる多くの奇岩が海岸線にそびえ立ち幻想的な景観を織りなし、中でもウネ神、赤立神などは見ごたえがあります。

【小宝島概要】

面積:	1.00km ²
周囲:	4.74km
東経:	129度20分
北緯:	29度13分
最高点:	102.7m



【小宝島 イベント・祭】

ヒチゲー(旧暦1月7日)
春さとう(旧暦1月11日)
ひな節句・浜降
(旧暦3月3日)
麦のまつり(旧暦4月中旬)
しこまつり(旧暦6月中旬)
霜月まつり(旧暦11月17日)
十島正月(旧暦12月1日)



INFORMATION 小宝島編



■小宝島の公共機関(連絡先)

- ・小宝島診療所
TEL 09912-4-2006
- ・小宝島小中学校
TEL 09912-4-2057
- ・小宝島簡易郵便局
TEL 09912-4-2018

■十島村の公共機関(連絡先)

- ・十島村役場
TEL 099-222-2101

■宿泊施設(要予約)



①湯泊荘 09912-4-2221

②民宿いこいの森 09912-4-2798

【ハブに注意!】

小宝島には奄美諸島にいるハブほどの猛毒ではありませんが、毒性の低いハブがいます。

- ハブはあまり見かけることはありませんが、注意してください。
- 草の茂ったやぶにはなるだけいかない。
もし行く場合でも長ズボンで、棒などを使ってご確認を!
 - 特に春先はハブにとってすごしやすい時期です。
通りにある石垣や木のそばに蝶々や小鳥を狙ってひそんでいる場合があります。よく注意してください。
 - もし咬まれたら、その箇所の上をハンカチなどでしばって、診療所で手当を。もし診療所が留守の場合は出張所にご連絡をください。

最後に—
あまりハブに敏感になりすぎると楽しい旅も半減してしまいます。ハブは億病な動物なので、もし遭遇しても刺激を与えないようにすれば大丈夫です。



※民宿をご利用される方へ
各民宿とも、基本的には一泊三食付で設定されています。
詳細は各宿に問い合わせ下さい。なお、小宝島では食堂などはございません。なるべく宿を利用されたほうがよろしいです。
車両を借りたい方は民宿へご相談下さい。